

# F/T09

フェスティバル/トーキョー

PRESS RELEASE

『太陽と下着の見える町』

庭劇団ペニノ

作・演出：タニノクロウ

12月5日(土)～12月13日(日)

於：にしすがも創造舎



『アンダーグラウンド』©田中亜紀 Aki Tanaka

美しくもグロテスク。過剰なまでに豊穡なのイメージにあふれるタニノワールド、  
ついに F/T 初登場！

にしすがも創造舎の空間を手に入れ、  
暴発必至のタニノの脳内世界を全身で味わいつくせ！

お問合せ：フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 <http://festival-tokyo.jp/>

〒170-0001 東京都豊島区西巢鴨 4-9-1 NPO 法人アートネットワーク・ジャパン内 TEL 03-5961-5202/FAX 03-5961-5207

制作担当：武田知也 t-takeda@anj.or.jp、板橋園恵 s-itabashi@anj.or.jp

## ／ 作品について

### 庭劇団ペニノの“イメージの演劇”

2007年『笑顔の砦』、08年『星影の Jr.』と、劇団公演で発表した戯曲が二年連続で岸田國士戯曲賞最終候補にノミネート、外部演出では古典戯曲と真正面から向き合う精巧で質の高い演出成果を挙げ、劇作家・演出家として近年多彩な実力を発揮するタニノクロウ。フェスティバル/トーキョー初参加となる今回は、タニノの幻想を具現化する集団、庭劇団ペニノによる新作公演となる。

庭劇団ペニノの“イメージの演劇”では、現実には存在することのない奇想の数々＝タニノの妄想が分断されたイメージとして観客に届けられる。「人は勝手に関連性を持って頭でつなげてしまうもの。そのこと自体が人間としての自由、そして権利だ」とタニノは語る。さまざまな仕掛けとたくらみをもって、劇場空間全体を巧妙に構築する。

タニノのあふれるイマジネーションと観客自身の想像力ががからまり合うとき、観る者は脳内の構成物を書き換えられたかのような感覚に襲われ、舞台上の幻想は圧倒的に“リアルなもの”として浮かび上がってくるに違いない。

### にしすがも創造舎の空間だからこそ享受できるペニノの真髄

演出・美術・照明・音響のほぼ全ての要素をタニノ自身が担い、自宅マンションを公演ごとに改造したアトリエはこぶねでの公演や新宿の高層ビル群に囲まれた空き地に奥行 50m にもなる巨大テントを設置しての野外公演など、タニノクロウの理想は公演ごとに「劇場を作る」ところにある。従って、劇場のブラックボックスに合わせて作品をつくるという形態ではない「非劇場」での公演活動を積極的に行う。また、せりふのない生活音だけで成立させた『Mrs.p.p.overeem』やジャズの生演奏と混乱する手術シーンを並行させ、恐怖と笑いを巻き起こした『アンダーグラウンド』など、既存の「演劇」を軽々と突き破る「非定型」の作品づくりも庭劇団ペニノの特徴だ。

今回の公演では、にしすがも創造舎の通常の客席パターンを全て取り払い、タニノのイメージ世界を具現化するための空間作りを一から行う。体育館という広大な空間を手に入れたタニノクロウの非凡な脳内世界を、全身で体感できる絶好の機会となるだろう。

## ／ 演出ノート

タニノクロウ

このフェスティバルに参加するに値する、十分な作品を作りたいと思っています。

同時に、多くの方に楽しんでいただけるような作品を作りたいと思っています。

今回の作品は、ずっとあたたためて、いつか実現させたいと思っていた作品です。

タイトルは「太陽と下着の見える町」です。

女性の下着が見えるさまを舞台芸術にすることが主な目的ですが、物語のあるダイナミックな作品になると  
思います。(私の下着に対する愛情をすべて出すこと)

つまり、この作品は究極のパンチラを求めるスペクタクルです。

そして、この作品は大人のための巨大絵本です。

参加できて光栄です。

## / アーティスト・プロフィール

### タニノクロウ Kuro Tanino 劇作家・演出家・俳優



©田中垂紀 Aki Tanaka

1976年富山生まれ。庭劇団ペニノ代表、作・演出家であると共に、現役の精神科医でもある。00年、昭和大学医学部在学中に同大学演劇部メンバーと共に「庭劇団ペニノ」を旗揚げ。

彫刻や絵画を趣味とするタニノは、舞台美術の細部にまでわたって強いこだわりを持ち、自身の妄想を単なるファンタジーに留まらせない演出効果を上げている。また、初めて本格的に執筆した脚本『笑顔の砦』(07年)、子役の教育プログラムとして俳優たちが“擬似家族”を演じるという劇中劇の構成をとった『星影の Jr.』(08年)と、2年連続で岸田戯曲賞最終候補にノミネート。最近では外部作品の演出も手掛けるなど、多彩な活動を展開している。

代表作に『ダークマスター』(03年初演・06年再演)、『アンダーグラウンド』(06年)、『笑顔の砦』(07年初演)。外部演出作品としては、『野鴨』(07年、主演：石田えり/製作：メジャーリーグ)、『ちっちゃなエイヨルフ』(08年、主演：勝村政信/製作：メジャーリーグ)などがある。

## / カンパニー・プロフィール

### 庭劇団ペニノ Niwa Gekidan Penino

作・演出のタニノクロウを中心に、2000年、昭和大学医学部演劇部を母体として発足。「庭」という一つの抽象的イメージのもと奔放に広がる様々な表現形態を提示する集団として設立。

劇団員は、代表のタニノクロウの他には構成を担当する3名のスタッフのみで、俳優・技術スタッフは所属していない。タニノクロウと構成担当のメンバーで行われる膨大な時間の企画会議の下、作品の骨組みが創られるという独特な創作手法も特徴。

これまでに17回の公演を重ね、大阪・精華演劇祭への参加、台湾・古嶺街小劇場の招きで台湾公演も行っている。また今秋には、ベルリン・HAU(ヘッベル)劇場の招聘も決定している。

## ／ キャスト/スタッフ

作・演出	タニノクロウ
出演	久保井 研 山田伊久磨 五十嵐 操 内田 慈 笹野鈴々音 佐野陽一 森 準人 間瀬英正 坂倉奈津子 大久保宏章 寺田ゆい 高橋ちづ 他
構成	タニノクロウ、玉置潤一郎、山口有紀子、吉野 明
美術	田中敏恵
照明	今西理恵
音響	中村嘉宏
演出助手	森 準人
舞台監督	矢島 健
宣伝美術(庭劇団ペニノ)	タニノクロウ
制作	中山静子
制作補	三好佐智子
製作	庭劇団ペニノ
共同製作	フェスティバル/トーキョー
助成	財団法人セゾン文化財団
主催	フェスティバル/トーキョー

## / 公演情報

会場 にしすがも創造舎  
(東京都豊島区西巣鴨 4-9-1 TEL03-5961-5202)

### 公演スケジュール

12/5(土)	12/6(日)	12/7(月)	12/8(火)	12/9(水)	12/10(木)	12/11(金)	12/12(土)	12/13(日)
19:30	17:00	19:30	14:00 19:30	19:30	19:30	19:30	14:00 19:30	14:00

終演後ポスト・パフォーマンストークあり

上演時間 未定

## / F/T チケット情報

料金 自由席(整理番号付き)  
一般 3,500 円  
学生 3,000 円 / 高校生以下 1,000 円 (要学生証提示)

前売開始 2009 年 9 月 5 日(土)

お取扱い F/Tチケットセンター 03-5961-5209(12:00-19:00)  
前売開始日 9/5(土)のみ 10:00 より受付  
F/Tオンラインチケット(要事前登録・無料)  
<http://festival-tokyo.jp/> (パソコン)  
<http://festival-tokyo.jp/m/> (携帯)  
モバイルサイトは 9 月より開設予定  
F/Tステーション(東京芸術劇場前)  
10 月後半より取扱い予定  
電子チケットぴあ 0570-02-9999  
(Pコード予約:397 - 086) <http://pia.jp/t/>  
イープラス <http://eplus.jp/ft09/> (パソコン・携帯)

\* 回数券、セット券、ペア券など、F/T チケット情報詳細につきましては、F/T 全体チラシまたは F/T 全体リリース、HPをご参照ください。

## 写真/クレジット一覧

『黒いOL』(04年)



©田中亜紀 Aki Tanaka

『星影の Jr.』(08年)



©田中亜紀 Aki Tanaka

ポートレート:タニノクロウ



©田中亜紀 Aki Tanaka

- ・ ご利用になる場合は、写真家のクレジットを必ず併記してください。
- ・ 原則、トリミングおよび加工は不可。